NO.

094

言語 言葉と思考

Do Words Shape Thoughts?

言葉は思考を形づくるか

英文の音声

レベル ★★★ 難関 | 298語 | 熟語12個 | 目標3分 | 読んだ日 | かかった時間 分 秒

1 Does the language we speak shape the way we think? In the early twentieth century, the linguists Edward Sapir and Benjamin Lee Whorf suggested that it does. Their idea is often ❶**compared to** wearing glasses: speakers of different languages, it is said, see the world through differently colored lenses.

2 In its strongest form, the hypothesis claims that we cannot think about something if our language has no word for it. Few researchers accept this today. A person with no word for a feeling is ❷**not at all** unable to experience it, and it would be wrong to conclude that one language ❸**is inferior to** another simply because it lacks certain words.

3 A weaker version, however, has found some support. Russian has separate basic words for light blue and dark blue. In some experiments, Russian speakers, ❹**in comparison with** English speakers, were slightly faster at telling apart shades that fall on either side of that boundary. Such speakers divide the colors of the world, ❺**so to speak**, slightly differently.

4 Space offers another example. Speakers of Guugu Yimithirr, an Aboriginal language of Australia, describe locations using north, south, east, and west rather than left and right. Such speakers tend to keep track of directions remarkably well, and researchers ❻**connect this ability with** the constant demands of their language.

5 ❼**Generally speaking**, then, language does not imprison thought, but it may guide our attention. Critics have ❽**commented on** how difficult it is to separate the effects of language from those of culture, so ❾**for now** the safest conclusion is a modest one: words do ❿**not always** limit what we can think, but they may influence what we notice. Learners who ⓫**get the point** will ⓬**think of a new language as** a new way of seeing, not just a set of new labels.

語注 **linguist** 言語学者 **hypothesis** 仮説 **boundary** 境目・境界 **imprison** 閉じ込める **modest** 控えめな

この英文の熟語 IDIOMS 12個｜番号は英文の中の番号と同じ。覚えたら □ に印

1 compare A to B A を B に例える □□□
「例える」の意味では to が基本。compare A with B は「A を B と比べる」だが、実際には両方とも to も with も使われる。本文は受け身 be compared to ~
例 *Life is often compared to a journey.* 人生はしばしば旅に例えられる。

2 not ~ at all 全く～ない □□□
否定を強める。not at all は「どういたしまして」という返事にも使う。not in the least / not a bit も同じ意味
例 *I'm not tired at all.* 私は全く疲れていない。

3 be inferior to ~ ～より劣っている □□□
比べる相手の前は than ではなく to。反対は be superior to ~。more inferior とは言わない
例 *This copy is inferior to the original.* この複製は原本より劣っている。

4 in comparison with ~ ～と比べて □□□
compared with ~ / in comparison to ~ と同じ。by comparison（比べると）は副詞句
例 *In comparison with last year, sales have doubled.* 去年と比べて売り上げは倍になった。

5 so to speak いわば □□□
比喩的な言い方をしていると断る挿入句。as it were と同じ。文中にコンマで挟んで使うことが多い
例 *He is, so to speak, a walking dictionary.* 彼はいわば生き字引だ。

6 connect A with B A を B と結びつける □□□
物理的につなぐ意味と、頭の中で関連づける意味がある。connect A to B も可。受け身 be connected with ~ も頻出
例 *People often connect the color red with danger.* 人々はよく赤い色を危険と結びつける。

7 generally speaking 一般的に言えば □□□
独立分詞構文の一つ。frankly speaking（率直に言えば）、strictly speaking（厳密に言えば）とまとめて覚える
例 *Generally speaking, Japanese trains are very punctual.* 一般的に言えば、日本の電車はとても時間に正確だ。

8 comment on ~ ～について意見を述べる □□□
名詞 comment も同じく on を取る（make a comment on ~）。No comment.（ノーコメント）
例 *The minister refused to comment on the rumor.* 大臣はそのうわさについて意見を述べるのを拒んだ。

9 for now 今のところ・当面は □□□
将来は変わるかもしれないという含み。for the time being / for the moment と同じ
例 *That's all for now.* 今のところはこれで全部です。

10 not always いつも～とは限らない □□□
部分否定。not necessarily（必ずしも～ない）と同じ仲間。all / every / always が not と使われると「全部が～とは限らない」になる
例 *The rich are not always happy.* 金持ちが必ずしも幸せとは限らない。

11 get the point 要点を理解する □□□
point＝要点。I get the point.（言いたいことは分かった）。miss the point（要点を外す）が反対
例 *After his long explanation, I finally got the point.* 彼の長い説明の後、やっと要点が分かった。

12 think of A as B A を B と見なす □□□
regard A as B / look on A as B / see A as B と同じ型。as の後ろには名詞や形容詞が来る
例 *Many people think of him as a genius.* 多くの人が彼を天才と見なしている。

内容一致問題 QUESTIONS

英文を読んで、それぞれの問いに対して最も適切なものを 1〜4 から 1 つ選びなさい。

問1 第2段落によると、仮説の「最も強い形」について正しいものはどれか。

① 今日では多くの研究者が支持している。
② ある感情を表す語がなくても、人はその感情を経験できるので、受け入れられていない。
③ 語の少ない言語は他の言語より劣っていることを示した。
④ 新しい語は決して作られないと主張している。

問2 第3段落のロシア語の例が示していることは何か。

① ロシア語の話し手は青色を見ることができない。
② 英語の話し手のほうが色を見分けるのが速い。
③ 言語は色の見え方に全く影響しない。
④ 色を分ける語の違いが、色を見分ける速さにわずかに影響しうる。

問3 Which best describes the author's conclusion?

① Language completely determines what we can think.
② Language may influence what we notice, though it does not imprison thought.
③ Culture has no effect on the way people think.
④ Learning a new language means only learning new labels.

熟語チェック CHECK 意味に合う英語の熟語を書こう（答えは「熟語」のページ）

1 A を B に例える
2 全く〜ない
3 〜より劣っている
4 〜と比べて
5 いわば
6 A を B と結びつける
7 一般的に言えば
8 〜について意見を述べる
9 今のところ・当面は
10 いつも〜とは限らない
11 要点を理解する
12 A を B と見なす

背景知識 言語が思考を決める、あるいは思考に影響すると考える説を「サピア＝ウォーフの仮説（言語相対論）」という。言語が思考を完全に決めるという強い説は今では支持されないが、色の分け方や方角の表し方など、言語が注意や記憶にある程度影響するという弱い説には実験による裏付けがある。日本語の「青」がもともと緑の一部も含み、緑色の信号を「青信号」と呼ぶのもよく出る例である。入試では「強い説と弱い説の区別」が問われやすい。

全訳 TRANSLATION 色の太字は熟語の部分

1 私たちが話す言語は、考え方を形づくるのだろうか。20世紀前半、言語学者エドワード・サピアとベンジャミン・リー・ウォーフはそうだと唱えた。彼らの考えはしばしば眼鏡をかけることに**例えられる**。異なる言語の話し手は、違う色のレンズを通して世界を見ている、というのだ。

2 最も強い形では、この仮説は、言語にそれを表す語がなければ私たちはそのことについて考えられない、と主張する。今日これを受け入れる研究者はほとんどいない。ある感情を表す語を持たない人も、その感情を経験できないわけでは**決してない**。また、単にある語がないからといって、ある言語が別の言語**より劣っている**と結論づけるのは誤りだろう。

3 しかし、より弱い形の仮説は、ある程度の裏付けを得ている。ロシア語には、水色と紺色を表す別々の基本的な語がある。いくつかの実験では、ロシア語の話し手は英語の話し手**と比べて**、その境目の両側にある色合いを見分けるのがわずかに速かった。そうした話し手は、**いわば**少し違うやり方で世界の色を分けているのである。

4 空間についても例がある。オーストラリアの先住民の言語であるグーグ・イミディル語の話し手は、左右ではなく東西南北を使って位置を表す。こうした話し手は驚くほどよく方角を把握している傾向があり、研究者は**この能力を**その言語が絶えず求めること**と結びつけて**いる。

5 つまり、**一般的に言えば**、言語は思考を閉じ込めはしないが、私たちの注意を導くのかもしれない。批判する人々は、言語の影響を文化の影響から切り離すのがどれほど難しいか**を指摘して**きた。だから**今のところ**最も安全な結論は控えめなものだ。言葉は考えられることを**いつも**制限する**とは限らない**が、気づくことには影響を与えるかもしれない。この**要点が分かった**学習者は、**新しい言語を**単なる新しいラベルの集まりではなく、新しいものの見方**と見なす**だろう。

要旨 言語が思考を完全に決めるという強い説は否定されているが、色や方角の例のように、言語が私たちの注意や気づきに影響する可能性はある。外国語を学ぶことは新しいものの見方を学ぶことでもある。

解答・解説 ANSWERS

問1 2 問2 4 問3 2

問1 正解 2 根拠は第2段落の Few researchers accept this today と A person with no word for a feeling is not at all unable to experience it。語がなくても経験できるので強い説は受け入れられていない、という 2 が正解。1 は Few researchers accept（ほとんど受け入れない）と逆。3 は it would be wrong to conclude that one language is inferior to another と筆者が否定している。4 の新しい語は作られないという主張は本文にない。

問2 正解 4 根拠は第3段落の Russian speakers, in comparison with English speakers, were slightly faster at telling apart shades that fall on either side of that boundary。水色と紺色を別の語で表すロシア語の話し手が、その境目をわずかに速く見分けたので 4 が正解。1 は本文と無関係な極端な内容。2 は逆。3 はこの段落が弱い説の裏付けを示していることと反する。

問3 正解 2 根拠は最終段落の language does not imprison thought, but it may guide our attention と、words do not always limit what we can think, but they may influence what we notice。思考を閉じ込めはしないが気づくことに影響しうるという 2 が正解。1 は強い説そのもので、筆者は否定している。3 は言語と文化の影響を切り離すのが難しいと述べており、文化の影響がないとは言っていない。4 は not just a set of new labels と逆である。